

ベトナムの FDI 動向と 2025 年の展望

2025 年 2 月 25 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 FDI（外国直接投資）

ベトナムの FDI 動向と 2025 年の展望

ベトナムは近年、外国直接投資（FDI）の誘致において良好な成果を収め、2024 年も高い期待のもとでスタートした。2024 年の FDI 総額は 38.23 億ドルで前年比 3.0%減少したが、新規投資案件は 3,375 件で 1.8%増加し、既存プロジェクトの追加投資額は 50.4%増加した。特に半導体、エネルギー、ハイテク分野での大型投資が経済構造の転換を後押ししている。シンガポール、韓国、中国、日本などが主要投資国であり、ベトナム北部の工業地域を中心に投資が拡大している。

2024 年末時点で、累計 FDI 額は 5028 億ドルに達し、主に製造業、不動産、電力供給分野に投資されている。また、FDI による輸出は総輸出額の 71.8%を占め、貿易黒字の大半を支えている。政府は FDI 誘致のための環境整備を進め、特に貿易協定の拡大やビジネス環境の改善に注力している。

2025 年の FDI 見通しは明るく、ASEAN 全体の FDI 増加傾向を背景に、ベトナムへの投資も拡大すると予測される。特に、貿易摩擦の影響で投資の多様化が進む中、FTA ネットワークの強みを活かし、外国企業の進出が加速すると考えられる。FDI の増加により、技術移転や輸出競争力の向上が期待され、ベトナム企業の国際市場での適応力強化にもつながる。

一方で、FDI の質を向上させるための課題も残る。地域間の競争の調整、新規経済モデルへの法整備、環境基準の明確化、グローバル税制への対応などが求められる。今後、ベトナムは投資環境のさらなる改善、規制緩和、行政手続きの簡素化、労働生産性の向上に取り組むことで、持続可能な FDI 誘致を目指す必要がある。

以上